

ご使用に際して、この説明書を必ず読んで下さい。  
また、必要な時に読めるよう本剤とともに保管して下さい。

# 東洋漢方の三黄散

(さんおうさん)

第2類医薬品

本剤は、漢方の古典「金匱要略」に記載されている三黄瀉心湯の散剤（三黄散）で、これを顆粒剤としたものである。

## ⚠ 使用上の注意

### ❌ してはいけないこと

- (守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる)
1. 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないこと  
他の瀉下薬（下剤）
  2. 授乳中の方は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けること



### 相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
 

(1)医師の治療を受けている人。	(4)胃腸が弱く下痢しやすい人。
(2)妊婦又は妊娠していると思われる人。	(5)ただらら出血が長びいている人。
(3)体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）。	(6)今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振、胃部不快感、はげしい腹痛を伴う下痢、腹痛

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること  
軟便・下痢
4. 1ヵ月位（鼻血に服用する場合には5～6回、痔出血、便秘に服用する場合には1週間位）服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

### 【効能・効果】

比較的体力があり、のぼせ気味で、顔面紅潮し、精神不安で便秘の傾向のあるもの：高血圧の随伴症状（のぼせ、肩こり、耳なり、頭重、不眠、不安）、鼻血、痔出血、便秘、更年期障害、血の道症

### （効能・効果に関連する注意）

血の道症とは、月経、妊娠、出産、産後、更年期など女性のホルモンの変動に伴って現れる精神不安やいらだちなどの精神神経症状および身体症状のことである。

### 【用法・用量】

下記の量を食前に水又は白湯にて服用して下さい。  
なお、用時添付のサジ（すり切り1回量）を使用して下さい。

年 齢	1回量	1日服用回数
大人(15才以上)	0.8g	3回
15才未満	服用しないこと	

### 【成分・分量】 [本品1日量2.4g中]

日本薬局方 ダイオウ末……………0.96g      日本薬局方 オウレン末……………0.48g  
日本薬局方 オウゴン末……………0.96g

## 保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- (2)小児の手の届かない所に保管すること。
- (3)他の容器に入れ替えないこと。
- (4)本剤は生薬を原料とした製品ですから、製品により色調や味が多少異なることがあります。効果には変わりありません。



### 【問い合わせ先】

本製品についてのお問合せは、お買い求めのお店、または下記にお願い申し上げます。

東洋漢方製薬株式会社「お客様相談室」

電話 0120-00-1040

受付時間 9:00～17:00（土、日、祝日を除く）

副作用被害救済制度の問い合わせ先  
(独)医薬品医療機器総合機構  
http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai\_camp/index.html  
電話 0120-149-931（フリーダイヤル）

製造販売元

**東洋漢方製薬株式会社**

〒584-0022 大阪府豊田林市中野町東2丁目1番16号